

「黄色ブドウ球菌菌血症における感染症コンサルテーションの費用対効果（SABEC study）」に対するご協力のお願い

研究責任者	馳 亮太
研究機関名 (所属)	成田赤十字病院 感染症科

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2007 年以降に外来もしくは、入院から 48 時間以内に採取された血液培養で、黄色ブドウ球菌が検出された、18 歳以上の成人の方が対象となります。なお、血液培養採取から 2 日以内に、亡くなった、他施設へ転院した、医師の指示に反し退院した、もしくは緩和ケアのみの対象とされた場合には対象となりません。

2 研究課題名

承認番号 20261057

研究課題名 黄色ブドウ球菌菌血症における感染症コンサルテーションの費用対効果（SABEC study）

3 研究組織

研究代表機関
慶應義塾大学

研究代表者
教授 宇野俊介

共同研究機関
東京科学大学
日本赤十字社成田赤十字病院
JA 愛知厚生連安城更生病院
名古屋市立大学

研究責任者
准教授 岡本耕
部長 馳亮太
代表部長 鈴木大介
教授 伊東直哉

地方独立行政法人山梨県立中央病院 部長 三河貴裕
一般財団法人津山慈風会津山中央病院 部長 藤田浩二
地方独立行政法人東京都立病院機構 部長 織田鍊太郎
東京都立多摩総合医療センター

4 本研究の目的、方法

(1) この研究の目的

黄色ブドウ球菌菌血症に対する、感染症医へのコンサルテーションの、医療経済評価を実施することを目的としております。

(2) この研究を実施する意義

黄色ブドウ球菌に対する、感染症コンサルテーションの医療経済評価を実施することで、それが患者にとってよりよいアウトカムが得られるのか、またそれに伴ってより多くの費用がかかることが許容されるのかといった、解析が可能となります。もし費用対効果が良好な結果が得られれば、感染症コンサルテーション加算などのような診療報酬の設定が正当化されます。

(3) この研究の実施方法

各共同研究機関で治療した黄色ブドウ球菌菌血症患者を対象とします。対象となった方の診療内容および医療費データを医事部門のシステムより抽出します。別途研究に必要な入院治療についての診療情報（臨床経過、重症度、基礎疾患、検査結果など診療録に記載された全ての情報）を、診療録を参照し、情報を確認致します。

共同研究機関のデータで抽出不可能なものについては、適宜外部で公開されているデータを引用して分析致します。

5 協力をお願いする内容

各共同研究機関で実施された診療内容および医事データ、診療情報（病歴、基礎疾患、診断、治療内容、バイタルサイン、CT、MRI、心エコー、血液培養結果、重症度、転機）などを研究用に提供していただき、分析に使用致します。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

抽出された診療情報、医事情報は個人が特定できないよう匿名化した上で、慶應義塾大学看護医療学部へ電子的に送付し、解析を行います。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措

置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

成田赤十字病院 感染症科 部長 馳亮太
〒286-8523 千葉県成田市飯田町 90 番地 1
TEL 0476-22-2311（代表）
（対応可能時間 平日 8:30-17:00）

以上